

ク ロ ー バ ー

Clover

VOL.30

2020年冬号



株式会社 さち コーポレーション
グループホーム さち

ホーム長のご挨拶



スマホデビューをしてからはや3年近くが経ちました。デビュー当時はそれまで使い慣れていた携帯電話とは操作の勝手が違いすぎて使いこなせず、宝の持ち腐れになりそうに。そんな時、友人にスマホ教室のことを教えてもらい、教室に通ってようやく使えるようになりました。ただ、今の悩みは便利と呼ばれるアプリがありすぎて、自分に合っているものはどれかと悩んでしまうことです。便利なもので溢れると、どうしたらよいのか迷ってしまうのは人の心理なのでしょうか。

似たような状況はスマホだけに限らないと感じています。それは日本の様々な制度です。特にここ最近では年金が自分にとって身近なものとなってきましたが、受給要件や手続き等がわかりにくく、またここ数年で制度もコロコロ変わってしまう等、どんどん複雑化する世の中に付いて行くのがやっとです。何が自分にあった制度・サービスなのかが分かりませんし、そうした情報も自分から探しに行かないと気付けません。何もしなくても制度・サービスが必要な人に届く・簡単に利用できるとよいのですが、現実はこちらから申し出をしない限りは利用できないのがほとんどです。

便利な世の中になってきているようで実は不便利さが出てきている社会で、取り残されてしまう人々が少しでもないように、必要な情報をわかりやすく伝えていくことも私たち福祉に携わる者としての役割だと強く思うようになりました。

育ち過ぎて枝が込み合った大樹から零れ落ちた実のように、複雑になりすぎた日本社会の中で役目が分からず、どう実を結ばせるか分からずに枯れて行くことはとても名残惜しいです。少しでも今苦しんでいる人々が本来の姿に戻るように、希望の実が「美味しいね、味があるね」と誰かに言ってもらえるような助けとなる、温かい大きな手が私は欲しいですし、そんな手に私はなりたいです。

まだ一人の手では薄く頼りなく、実は指の隙間から零れてしまいます。一人ひとりの手が集まるとやがて大きな手となり、支えを必要とする方々の希望の実を包み込み育めると思います。私とさちの願いです。

これからも多くの人々が温かい手に包まれますように。

研修レポート



福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者研修課程を11月に2日間受講しました。愛知県内の様々な福祉施設の職員が100名程集まり、主に5~6人のグループに分かれて課題に取り組みました。

【1日目】

最初の講義ではまず自己紹介を行いました。私のグループでは私以外の方は障がい者施設で働いている方々だったので、休憩時間に話を聞くと同じ福祉の世界でもかなりギャップを感じました。

次の講義では、福祉業界の様々な設問に理解が出来るかグループ討論をしました。福祉理念について、メンバーシップについてなどの設問について討論し、回答を出しました。個人の回答は何問か間違えてしまいました。グループとしては全問正解する事が出来て良かったです。この際に討論リーダーとして意見をまとめる難しさを感じました。

コミュニケーションを実践的に学び、対人サービスにおける**S**（笑顔）**G**（挨拶）**N**（固有名詞）**T**（感謝）の大切さを学びました。実践的に**SGNT**を用いてグループ内で「愛してる」と言い合い、恥ずかしさもありましたが楽しかったです。

最後に2分程の寸劇を作り発表しました。私はディサービスの送迎ドライバー役を担当しましたが、話し合いの時間が足りなく細かく設定をつける事が出来ませんでした。本番は何とかまとまった寸劇を行う事ができました。

【2日目】

最初の講義は自己啓発について学び今後の自分の課題を考えるという事でした。まだまだ私は足りない事が多いと感じ、まず視野を広く持ちながら利用者様と接しようと思いません。

次の講義では自分たちがどんな介護職員になりたいか考え、一つの指針マップのような物をグループ内で作成し発表しました。私のグループでは鯉のぼりを題材にしたマップでしたが、きれいで分かり易い物が出来良かったと思います。

今回の研修で事前学習、事後学習もありましたが、中々大変な研修でした。しかし色々な施設の方々と会話ができ、ある意味達成感も感じ楽しめる学びを得ました。

今後経験年数が増えていく中で、ホウ・レン・ソウやコミュニケーションを大切にしていこうと思っています。

(山本)

あっちこっちそっち

このコーナーは、グループホームさちの活動をご報告いたします。

サガミ&ピザパーティー（11月）

11月はちょっと贅沢なランチを楽しみました。さくらユニットはサガミへ。久しぶりの外食だったということもあり食べっぷりよく、普段は残してしまうことも多い利用者様がいつもの2倍近く召し上がられました！



うめユニットはピザパーティー。メニューを見ながら「テリヤキが食べたいな！シーフードも食べてみたい！」

と楽しそうに選ばれ、4種類のピザをみんなで美味しく頂きました。おかわりされる利用者様続出でした♪

餅つき(12月)

2019年も残りわずかとなり年末行事の一つ、餅つき大会を開催しました。うめ・さくらユニット合同で輪になり「くつつくで、もっと水付けにゃいかんよ〜」「餅は奇数回つくると良いんだよ〜」と様々なアドバイスが飛び交いながら、皆さんにこやかにそして力強くお餅をつかれました。



鏡餅の成形は難しくなかなか丸くならず…。「ここがもっと中に入ったら綺麗だけだね〜」と。それでも「ま、しょうがないね！」と笑いながら仰って下さいました。

お正月（1月）

今年も皆様お元気に新年を迎えられ、年始のご挨拶から始まりました。初詣には梅坪神社へ行かれ、皆様しっかりと手を合わせて「今年も一年無事に過ごせますように」とお祈りをされました。又、女性の皆様はお正月らしく普段なかなか着る機会がない着物の着付け体験をされました。ご自分で好きな着物を選んで写真撮影を行いました。着物を着られると表情が変わり、お一人おひとりよく似合ってみえました。



さちのつばやき

ここでは、グループホームさちで聞こえたつばやきを少しずつご紹介します。

素敵なお姫様

新しい年を迎え、今年は「子年」年女となるHさんはうめの最高齢95歳です。ある日、壁に飾ってある作品の写真を指差し職員に「あの着物を着ているお姫様は私？」と。そうですね～とお答えすると「ま～、嬉しい、綺麗に着飾って！」「あの作品貰える？妹に見せて自慢しなくちゃ！」と、とても嬉しそうにされ、作品が目に入る度に「あのお姫様は私？」と聞かれていました。95歳になっても、毎日朝起きた際には口紅を欠かさず塗られ、出掛ける際も鏡での身だしなみチェックも怠りません。いつまで経っても女性としての習慣は覚えていらっしゃるようです。



大好物

翌日の朝食のパンを購入する為けやきワークスへ一緒に行きました。店内に入るとYさんが好きなあんぱんも置いてあり、残り1個の状態でした。職員があんぱんを買いますか？と尋ねますと「あんたの好きにしてい」と言われていましたが、Yさんの目線の先はあんぱん。食べたそうな表情をされてみえた為購入しました。あんぱんを手にする嬉しそうな表情をされ「旨そうだな」と一言。大事そうに持って帰られました。



遥々、県外まで

ご家族のお祝い事で県外まではるばる旅をされてきた女性利用者様。「泊まったホテルから見える景色が生まれた街の景色とそっくりでねえ！海が見えて、湾の形もそっくりで。実家に帰ったような感じだったよ」と目を輝かせて教えてくださいました。普段はゆったりと落ち着いてみえる利用者さん。イキイキと語ってください、お祝い事に加え、きっと遠くまで旅行されたことも楽しかったのだろうと、こちらまで幸せな気分になるお話でした。



癒しの時間 Lesson27 桜のウィンナーティー

今年は暖冬の影響で小春日和が続いていましたが、立春を過ぎたら急激に冷えてきましたね。この寒暖差で皆様体調は崩されていないでしょうか？さちの梅の木も早くに花を咲かせていましたが、この寒さに驚き縮こまっているように見えます。

さて、今回はちょっと早めの春を味わう、桜風味のウィンナーティーのレシピを紹介させていただきます☆

<材料 ティーカップ 2 杯分>

- ・紅茶葉 ティースプーン 2 杯
- ・塩漬け桜 4 房
- ・生クリーム 50 cc
- ・桜餡 30 g

- ① 塩漬けの桜を軽く水洗いし、10 分ほど水に浸けて塩抜きする。塩抜きしたら水気を軽く絞る。
- ② 生クリームを角が立つくらい泡立て、桜餡を加えて混ぜる。
- ③ やかに汲み立ての水を入れ火にかける。沸いてきたらティーポットへお湯を注ぎポットを温める。ポットが温まったらお湯を捨て茶葉と①を入れ、沸騰手前のお湯(100 円玉くらいの泡がぼぼこ浮いてくるくらい)をカップ 2 杯半分勢いよく注ぐ。
- ④ 茶葉の大きさや種類に合った時間蒸らしたら、カップへ注ぎ②のクリームを浮かべる。塩漬け桜を飾れば完成です。



茶葉はディンブラやニルギリなどあっさりとした種類がおすすめです。クリームに甘味がありますが、足りないと感じる方は紅茶の方にもお砂糖を加えてください。桜餡はスーパーの食料品売り場ではなかなか見かけないですが、製菓用品店に売っていますよ。

ほんのりとした桜の香りと薄ピンクのクリームがなんとも春らしくてわくわくしてしまいます。


寒い日はもう少し続きそうですが、陽も長くなり花粉も飛び出し…春を感じる場面が増えてきました。季節に合わせてお茶を楽しむのもいかがでしょうか♪

<ゆうこ>



11月11日～2月10日の間に、たくさんの方々からさちにご協力いただきました。


さわやか豊田のみなさん 佐橋澄雄さん ショウワサウンズのみなさん 杉山順子さん
小澤たみ子さん （順不同）



サポーターさん募集

グループホームさちではサポーターさん（ボランティア）を募集しています。「ボランティアっていつと何か出来ないといけないのでしょ？」と思う方もみえるかもしれませんが、確かに色んな特技を活かしてボランティアをして下さる方もみえますが、ほんの空いた時間に、入居者の方とお話しをしていただいたり、お茶を飲みがてら一緒に植物の手入れをしたり、ご飯作りを手伝っていただいたり・・・普段の生活にほんの少しのお手伝い（サポート）をしていただけるだけでも大歓迎です。お一人でもお友達同士でお越しいただいてもOK。一緒にこれからの高齢者の生活を考えながら活動しませんか？

<担当：神谷>



編集雑記

丁度1年前のこの時期にインフルエンザにかかり寝込んでいました。世間もインフルエンザの流行で話がいっぱいでしたが、今年は新型コロナウイルスの流行でインフルエンザについての話をほとんど聞きません。しかし、インフルエンザも静かに流行しています。マスク不足もあり不安も大きいですが、まずはインフルエンザ予防の基本、「うがい・手洗い・規則正しい生活」をこころがけて、ウイルスに勝てる体を作っていきましょう。

（真理）

発行／株式会社さちコーポレーション

〒471-0067 愛知県豊田市栄生町3-58 ☎0565-35-0805

<http://www.e-sachi.co.jp/>

発行責任者／神谷 幸子

発行日／2020年2月10日（発行予定月 2月5月8月11月）